

「免疫をおさえる薬」や「抗がん薬」などの
治療前または治療中に

新たにB型肝炎ウイルスを おさえる薬を 服用される患者さんへ

監修

独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター
消化器・肝胆膵内科 医長

杉本 理恵 先生



 **GILEAD**
Creating Possible

ギリアド・サイエンシズ株式会社

メディカルサポートセンター

フリーダイヤル: 0120-506-295

9:00-17:30 (土日祝日及び会社休日を除く)

TAF20SW0226LT
2020年●月作成

目次

- B型肝炎ウイルスとはどんなウイルスですか? 3
- B型肝炎ウイルスにはどうやって感染しますか? 3
- B型肝炎ウイルスに感染している/したことがある場合、
「免疫をおさえる薬」や「抗がん薬」などの治療前/治療中に
「B型肝炎ウイルスをおさえる薬」を服用しないと、どうなりますか? 4
- 「B型肝炎ウイルスをおさえる薬」は、
どのようにして重症の肝炎を予防できるのですか? 5
- 【コラム】「免疫をおさえる薬」や「抗がん薬」などの治療によって
重症の肝炎が起こるしくみ 6
- 「B型肝炎ウイルスをおさえる薬」は
いつまで服用する必要がありますか? 7
- 薬を飲んで普通に生活していてもB型肝炎ウイルスを
人にうつす可能性がありますか? 7

B型肝炎ウイルスとはどんなウイルスですか?

**肝臓に感染すると、肝臓の細胞が
壊れてしまうおそれのあるウイルスです。**

B型肝炎ウイルス (HBV) に感染すると、肝臓の細胞が壊れてしまい(「炎症」、
肝炎を発症することがあります。



B型肝炎ウイルスにはどうやって感染しますか?

**B型肝炎ウイルスは、
血液や体液を介して感染します。**

日本では、約100人に1人が感染しています。

血液や体液を介して感染するため、母子感染や、思春期以降では性交渉などを
介して感染することがあります。



B型肝炎ウイルスに感染している/したことがある場合、「免疫をおさえる薬」や「抗がん薬」などの治療前/治療中に「B型肝炎ウイルスをおさえる薬」を服用しないと、どうなりますか？

肝臓でB型肝炎ウイルスが増えて、重症の肝炎を発症するおそれがあります。

患者さんの肝臓は現在、次のような状態です。

①現在、肝臓にB型肝炎ウイルス(HBV)が感染している

②過去、肝臓にB型肝炎ウイルス(HBV)が感染していた

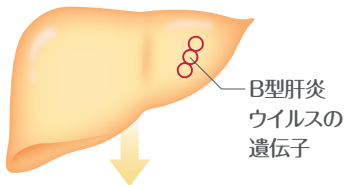
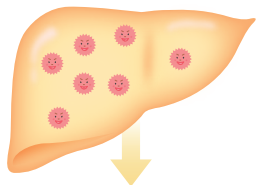


過去にB型肝炎に感染していた場合、B型肝炎ウイルスの遺伝子が肝臓に潜っており、免疫が低下したときに、ウイルスが再び増えてくる可能性があります。

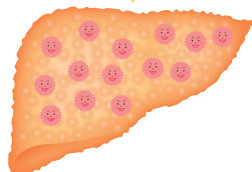
「免疫をおさえる薬」や「抗がん薬」などの治療を行うと、B型肝炎ウイルスがより増えやすい状態になるため、重症の肝炎を発症するおそれがあります。

①現在、肝臓にHBVが感染

②過去、肝臓にHBVが感染



「免疫をおさえる薬」、「抗がん薬」などによる治療



「免疫をおさえる薬」などの治療中または治療後に**重症の肝炎**を発症するおそれがあります

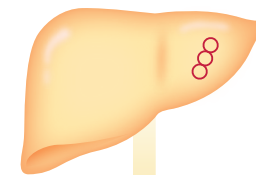
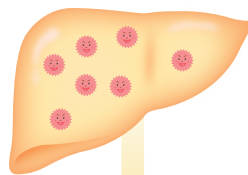
「B型肝炎ウイルスをおさえる薬」は、どのようにして重症の肝炎を予防できるのですか？

B型肝炎ウイルスが増えるのをおさえることで、重症の肝炎が起こるのを防ぎます。

「B型肝炎ウイルスをおさえる薬」を服用することで、「免疫をおさえる薬」や「抗がん薬」などの治療前または治療中に、B型肝炎ウイルスが増えるのをおさえられ、重症の肝炎が起こるのを予防することが期待されます。

①現在、肝臓にHBVが感染

②過去、肝臓にHBVが感染



ブロック

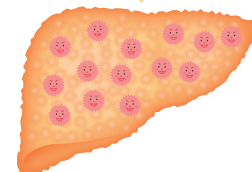
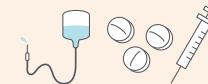


B型肝炎ウイルスをおさえる薬



ブロック

「免疫をおさえる薬」、「抗がん薬」などによる治療

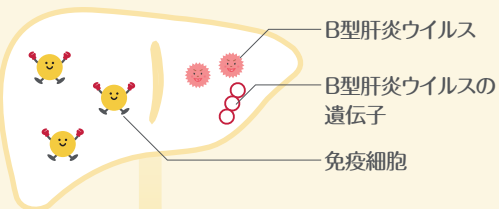


「免疫をおさえる薬」などの治療中または治療後に**重症の肝炎**が起こるのを防ぎます

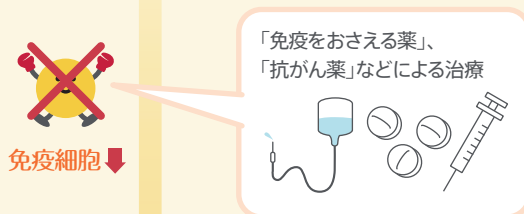
「免疫をおさえる薬」や「抗がん薬」などの治療によって重症の肝炎が起こるしくみ

患者さんの肝臓では次のような順序で、重症の肝炎が起こるおそれがあります。

① 患者さんの肝臓にはB型肝炎ウイルスやその遺伝子とともに、これらが増えないように「免疫細胞」が存在しています。



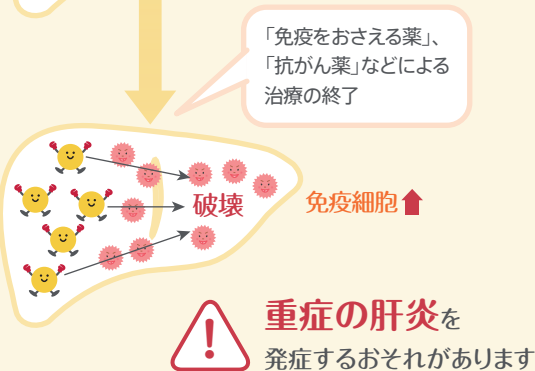
② 「免疫をおさえる薬」や「抗がん薬」などは、患者さんの肝臓にいる免疫細胞のはたらきをおさえます(免疫力が低下)。



③ 免疫細胞のはたらきがおさえられると、これまで免疫細胞のはたらきでおとなしくしていたB型肝炎ウイルスが活発に増えます。



④ 「免疫をおさえる薬」などの治療が終わると、患者さんの肝臓でまた免疫細胞が活発にはたらきはじめ(免疫力が回復)、B型肝炎ウイルスといっしょに肝臓をこわしてしまいます(重症の肝炎を発症するおそれがあります)。



「B型肝炎ウイルスをおさえる薬」はいつまで服用する必要がありますか？

先生の指示があるまで服用し続けましょう。
自己判断で服用を中止してはいけません。



「B型肝炎ウイルスをおさえる薬」は、毎日服用することで肝炎になるのを防ぐことが期待されます。自己判断で服用をやめてしまうと、ウイルスが再び増えて、病気が悪化したり、薬が効きにくくなったりするおそれがあります。先生の指示どおりに服用し続けることが重要です。



「免疫をおさえる薬」などの治療終了後も、先生の指示があるまでは、自己判断で使用を中止せず、飲み続けましょう。



B型肝炎ウイルスをおさえる薬の服用によって副作用があらわれることがあります。気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師にご相談ください。



薬を飲んで普通に生活していてもB型肝炎ウイルスを人にうつす可能性がありますか？

ウイルスが含まれた血液や体液が体に入らない限りうつすことはありません。

B型肝炎ウイルス血液や体液を介して感染します。薬を飲んで血液の中からウイルスが消えていけば、人にうつす可能性は低くなります。

会話や握手、会食などで人にうつすことはありませんが、献血などの行為は感染リスクがあります。どのような行為に注意すべきか、医師に確認しましょう。

